

中学校・第1学年・学級活動（1）ア 学級生活を見直そう①

高知県提供

育成を目指す資質・能力

学級生活をよりよくするために、多様な考えを出し合い、自分たちの問題を自分たちで解決しようとする態度を育成する。

ICT活用のポイント

集団の生活上の課題を解決するために、ICT端末を活用し、個人の意見を表明し合うとともに意見を比べ合い整理することで、話し合いを活性化し、よりよい合意形成につなげるようにする。

事前の活動

- 問題の発見
学級目標の達成状況を調べる。（アンケートを実施）
- 議題の設定
- 計画の作成・問題の意識化

本時の活動

- 問題意識の共有
- 問題解決に向けた話し合い活動
学級生活を改善するために、今後の取組方法について話し合う。
- 合意形成による解決方法の決定

事後の活動

- 実践と振り返り

事例の概要

- 年度当初に決めた学級目標の達成状況について、アンケート機能を利用してアンケート調査を行う。
- 学級生活を改善するために、現在の課題や改善点などをもとに、デジタルホワイトボードソフトを利用して意見を出し合い今後の取組方法について話し合う。

中学校・第1学年・学級活動（1）ア 学級生活を見直そう②

【事例におけるICT活用の場面①】

問題の発見

年度当初に決めた学級目標の達成状況について、アンケート機能を利用してアンケート調査を行う。



（活用の場面①）

- アンケート機能を利用してアンケート調査を行うことで、集計作業等の負担が軽減される。

（活用の場面②）

- デジタルホワイトボードソフトを活用することにより、付箋に書いた意見を出し合い、模造紙に分類・整理するのと同様のことができる。
- 付箋の色や内容も、常時変更可能であり、話合いの状況に応じての変更、修正が容易にできるよさがある。
- デジタルホワイトボードソフトでは、誰が出した意見（付箋）かは特定できない（匿名性がある）ため、ありのままの意見を出しやすくなる。
- ICT端末を利用することで、模造紙や付箋等の準備等の負担が軽減される。

【事例におけるICT活用場面②】

問題解決に向けた話し合い活動

学級生活を改善するために、現在の課題や改善点などをもとに、デジタルホワイトボードソフトを利用して意見を出し合い今後の取組方法について話し合う。



【活用したソフトや機能】 アンケート機能、デジタルホワイトボードソフト